

第12回

全国介護・終末期リハ・ケア研究大会

テーマ

終末期高齢者の尊厳

～最期まで守り抜くための実践と課題～

日 時：2025年9月28日(日)10:00～15:30

開催方法：Web配信 オンデマンド配信あり

【大会運営】

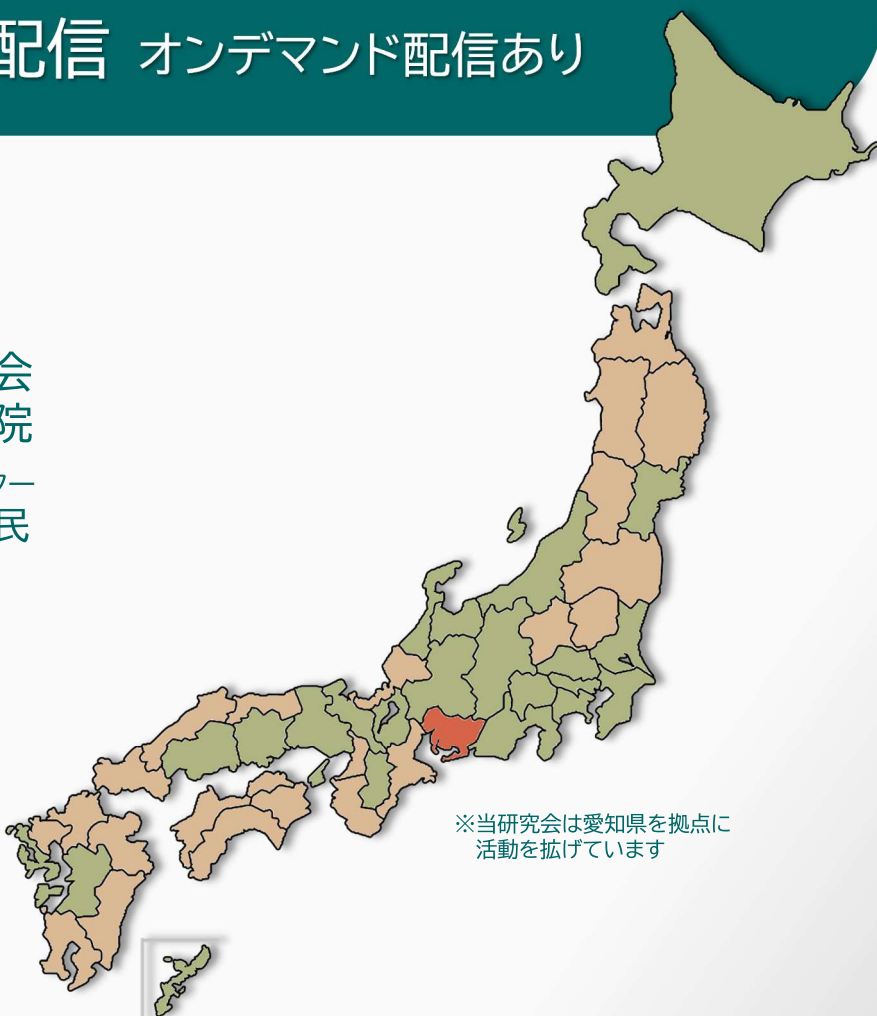
医療法人社団慶成会
青梅慶友病院

大会コーディネーター
福田 卓民

研究大会 詳細



<https://gkb.jp/visitor/seminar/380>



※当研究会は愛知県を拠点に
活動を広げています

主催：全国介護・終末期リハ・ケア研究会



目次

研究大会 開催にあたり.....	①
講師紹介.....	②
研究大会 タイムテーブル.....	③
参加/視聴方法.....	④
今後の研修会/研究大会のご案内.....	⑤
アンケートのお願い.....	⑥
研究会 入会のご案内.....	⑦
全国介護・終末期リハ・ケア研究会 会則.....	⑧

研究大会 開催にあたり

「第12回 全国介護・終末期リハ・ケア研究大会」の開催に先立ちまして、今大会のコーディネーターならびに当研究会の副会長を務める立場からご挨拶申し上げます。

2013年に設立された当研究会は、日本のリハビリテーション医療を長年にわたり牽引してこられた大田仁史氏を顧問に、氏が提唱した「終末期リハビリテーション」および「介護期リハビリテーション」の思想を、実践として広げることがを目的に活動してまいりました。設立から10年が過ぎた現在、研究会なりに終末期対応の在り方を整理するための中期計画（下記参照）を進めています。

第一弾として2024年に開催した第11回研究大会では「実践」をキーワードに訪問活動や病院といった現場での実践状況や基礎研究における最新の知見などが示されました。第二弾以降の2025～2028年は「終末期高齢者の尊厳 ～最期まで守り抜くための実践と課題～」という同じテーマのもと、毎年異なるキーワードを設定し、終末期対応としてのケアやリハビリテーションを具体化できればと考えています。

今大会のキーワードは「尊厳」です。「尊厳」はよく使われる言葉ですが、その意味は曖昧なまま認識されていることも少なくありません。そこで、改めて「尊厳」について考え、終末期高齢者に対する具体的な関わり方を確認することが必要と考え、今大会を企画いたしました。お話をお聞かせいただくのは高齢者対応に精通し、終末期を見据えた実践や経験を重ねてこられた方々です。異なる立場や異なる視点から、尊厳を守り抜くための対応についてご教示いただければと考えた次第です。

大田氏により「終末期リハビリテーション」が示されてから20年以上が経ちました。当時に比べれば、終末期対応の必要性が語られる機会は増えています。しかし、その一方で、そこで提供されるケアやリハビリテーションには、まだ向上や改善の余地があるようにも思います。「尊厳」を踏まえた望ましい対応、その実践のきっかけになることを願い、今大会を開催いたします。

2025年 9月

第12回 全国介護・終末期リハ・ケア研究大会

コーディネーター 福田 卓民

(医療法人社団慶成会 青梅慶友病院)

【全国介護・終末期リハ・ケア研究会 中期計画：5ヵ年計画】

概要：設立から10年間の活動を踏まえ、2024～2028年に開催する研究大会および研修会などを通して、研究会としての「終末期対応の在り方」を提示する。

方法：2028年までの研究大会を同じテーマ/異なるキーワードで開催し、その内容を整理/検討する

共通テーマ) 終末期高齢者の尊厳～最期まで守り抜くための実践と課題～
キーワード) 2024年－実践 2025年－尊厳 2026年－認知症
2027年－不活動 2028年－在り方

講師紹介 (講演順)

限られた時間での開催となるため、大会進行中、講師の皆様のご略歴紹介は割愛させていただきます。こちらでご確認ください。

第一部 10:10-10:45 講演「介護・終末期リハケアの重要性

～介護予防とリハビリテーションと尊厳～」

今 大事に思っていることは「介護予防及びリハビリテーションの意味、特にスペクトラムを明確にすること」「介護保険法第4条の要介護者の『有する能力』を明確にすること」

※今大会講演資料より

【略歴】東京医科歯科大学医学部卒業、1973年 伊豆通信病院リハビリテーション科部長、1993年 同病院副院長
1995年 茨城県立医療大学教授、1996年 同大学付属病院院長、2005年 茨城県立健康プラザ管理者(～2024/3/31)
2015年 茨城県立医療大学名誉教授、2016年 NPO法人日本健康加齢推進機構理事長
2024年 茨城県総合健診協会シルバーリハビリ体操推進センター顧問
著書に「介護予防と介護期・終末期リハビリテーション」(荘道社)、「地域リハビリテーション論 Ver.7」(三輪書店)など。



大田 仁史 氏
医師/当研究会顧問
NPO法人
日本健康加齢推進機構
理事長



佐藤 彰 氏
作業療法士
目白大学 准教授

第二部① 10:55-11:25 講演「反応が乏しい人へのケアと尊厳」

反応が乏しい人の尊厳をどのように理解し、支えるか。本講演では具体的なケアの実践を示しながら皆様とともに考えるきっかけが作れればと思います。

【略歴】山梨大学大学院修士(医科学)、東京家政大学大学院博士(学術)。
青森県のシルバーリハビリテーション協会で病院・老健・訪問リハなどのリハビリテーション実務に従事。
その後、アール医療福祉専門学校、健康科学大学で勤務。
現在は、目白大学で教鞭をとる傍ら、摂食嚥下関連の研修講師や臨床指導を行っている。

第二部② 11:25-11:55 講演「穏やかさを取り戻すケア」

「もし今日が人生最後の日だったら何をしますか」との問いに答えることは、人生の最終段階で、自分らしさとは何かを浮き彫りにする。人生の最終段階では、今まで自分でできていたことが、できなくなっていく。それは、自分らしさを失っていくことに繋がっていく。その自分らしさを取り戻せるようなケアを考えていきたい。

【略歴】沖縄県立看護大学 卒業 琉球大学医学部附属病院NICU勤務 NICUで医療的ケア児の課題を知り訪問看護師となる。医療的なケアが必要な子どもと関わりながら、多くの高齢者の看取りに携わる。現在は、後継の育成に取り組みながら地域課題の解決に取り組んでいる。



親泊 朝光 氏
看護師
株式会社いきがい
クリエーション 取締役



小池 和幸 氏
福祉レクリエーション・
ワーカー
仙台大学 教授

第三部① 13:10-13:50 講演「“尊厳”と幸福な人生について」

がんで亡くなった妻の看取り体験と99歳まで生きた母の死。大切な人の死と生き方、生き様からみてきた、自身の人生。死ぬことと生きること。衣食住と遊を支えることなどから、尊厳を考えてみたい。

【略歴】仙台大学体育学部体育学科卒業。青梅慶友病院レクリエーション科にてレクリエーション・ワーカーとして勤務ののち、広島YMCA健康福祉専門学校専任教員。
2000年より仙台大学体育学部健康福祉学科専任講師/助教授/准教授を歴任。
2009年より仙台大学体育学部健康福祉学科教授。

第三部② 14:00-14:40 講演「改めて、“尊厳”とは」

「その人が大切だと思うものを自分も大切と思う。それがその人の尊厳を守ることに」「尊厳を守る最初の一步は、自分たちの良心を傷つけないこと」

※今研究会資料より

【略歴】・1980年 東京大学医学部卒業
・1982年 都立松沢病院精神科医員
・1991～1998年 東京大学医学部精神医学教室講師
・和光病院院長などを経て2012年都立松沢病院院長
・2021年 同名誉院長
・著書に『アルツハイマー病になった母がみた世界』『都立松沢病院の挑戦』など。



齋藤 正彦 氏
医師
東京都立松沢病院
名誉院長

研究大会 タイムテーブル

2025年9月28日（日）

大会テーマ：終末期高齢者の尊厳 ～最期まで守り抜くための実践と課題～

キーワード：尊厳

進行：福田 卓民
(今大会コーディネーター/青梅慶友病院：東京)

10:00	研究会 会長挨拶	壹岐 英正 (当研究会会長、渡辺病院：愛知)
	大会主旨説明	福田 卓民
10:10-10:45	第一部：原点確認	
	講演 「介護・終末期リハケアの重要性 ～介護予防とリハビリテーションと尊厳～」	大田 仁史氏
10:45-10:50	休憩	
10:50-10:55	第二部：体験/実践共有	進行：山口 淳子氏 (所沢診療所 通所リハビリテーション結：埼玉)
10:55-11:25	講演 「反応が乏しい人へのケアと尊厳」	佐藤 彰紘氏
11:25-11:55	講演 「穏やかさを取り戻すケア」	親泊 朝光氏
11:55-12:30	TS※ 「最期まで必要な対応」	佐藤 彰紘氏/親泊 朝光氏
12:30-13:00	休憩	
13:00-13:10	第三部：課題抽出	進行：福田 卓民
13:10-13:50	講演 「“尊厳”と幸福な人生について」	小池 和幸氏
13:50-14:00	休憩	
14:00-14:40	講演 「改めて、“尊厳”とは」	齋藤 正彦氏
14:40-15:25	TS※ 「最期まで守り抜くために必要なこと」	齋藤 正彦氏/小池 和幸氏
15:25	事務局からのご案内	浅井 美穂 (当研究会事務局長、訪問看護ステーション仁瑞浪：岐阜)
15:30	閉会	

※TS=トークセッション

参加/視聴方法

今大会の録音/録画、撮影および複製は一切禁止いたします

今大会はZoomウェビナーを使ったWeb開催です。参加/視聴などの操作方法は以下としますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

1. 視聴方法

参加のためのZoom URLはご参加いただく各人にメールにてお送りします。
大会当日は9:30よりお入りいただけます。

2. オンデマンド配信について

研究大会終了後、準備ができましたら、視聴方法などをメールにてご連絡いたします。2026年1月31日(土) 23:59まで何度でもご視聴いただけます。

3. 質問/発言

ご参加いただいた方からのご質問/ご発言につきましては、以下の3つの方法での受け付けとさせていただきます。

1) チャットへの書き込みによる質問/発言

開催時間内であればいつ書き込んでいただいても構いません。
可能な限り、その後の進行の中でお答えできるよう努めます。

2) 「挙手」ボタンによる質問/発言

講演後またはトークセッションのときなどに進行役から「質問/発言を受け付ける」とした場合にお受けします。

希望される場合は「挙手」ボタンを押し、指名されましたらご発言ください。
その際は、「オーディオ」をonにし、お話しください(お顔は映りません)。

3) アンケートによる質問/発言

終了後に実施するアンケート(⑥参照)でもご質問/ご提案などを受け付けます。

---以下、ご了承ください-----

- ・1)は内容や時間の都合などにより、開催時間内でお答えできない場合があります。
- ・開催時間内でお答えできなかったもの、保留としたものなどがあった場合は個別に回答または後日開催する「研修会①(ページ⑤参照)」の中でお答えします。

開催中、ネットワークトラブルなどが発生した場合

- ①一時中断し、状況が改善した時点で再開
 - ②一度Zoomウェビナーを閉じ、新URLを各自にメールで送信、再開
 - ③状況改善が困難と判断し、その時点で中止
- などとなる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

今後の研修会/研究大会のご案内

今大会終了後は以下を予定しています。

オンデマンド

今大会の模様を配信

※準備ができ次第、ご参加いただいた方へご案内します
配信期間予定:2026年1月31日(土)までを予定

研修会

研究大会の内容整理と課題を検討し、次年度以降の研究大会につなげる

研修会①「第12回 研究大会を深掘りする 内容整理と課題抽出」

日 時：2025年12月4日(木) 19:00～20:30

研修会②「“尊厳”を守るための認知症/不活動への対応^(仮)」

日 時：2026年2月25日(水) 19:00～20:30

方 法：Web配信

参加費：会員および学生は無料

非会員 1,000円

研究大会

複数年の大会を「共通テーマ/異なるキーワード」で企画/構成

共通テーマ「終末期高齢者の尊厳 ～最期まで守り抜くための実践と課題～」

第13回 全国介護・終末期リハ・ケア研究大会

2026年9月27日(日) キーワード “認知症”

第14回 全国介護・終末期リハ・ケア研究大会

2027年9月26日(日) キーワード “不活動”

第15回 全国介護・終末期リハ・ケア研究大会

2028年9月24日(日) キーワード “在り方”

終末期高齢者の **尊厳** を守りながら、**認知症/不活動** にどう対応するか、それらを整理し、研究会としてのケアやリハビリテーションの **在り方** を示します。

※時間や開催方法は未定。

日程は現時点での予定のため変更となる場合があります。

アンケートのお願い

今回の研究大会についてのご意見/ご感想をお聞かせください。

アンケート項目には以下も含まれています。

- ・各講師への質問
- ・研究会へのご意見/ご要望/ご提案
- ・共同研究/情報交換の受け付け



研究大会アンケート

【回答期間】

2025年9月28日(日)～2025年10月10日(金)

次年度以降の研究大会/研修会の参考にさせていただきますので、回答にご協力くださいますようお願いいたします。

研究会 入会のご案内



全国介護・終末期リハ・ケア研究会

National society for care&end term rehabilitation care

とは

全国介護・終末期リハ・ケア研究会は、長年日本のリハビリテーション医療を牽引してこられた大田仁史先生を顧問に迎え、終末期リハビリテーションおよび介護期リハビリテーションの思想を実践につなげ、それを全国に広げるために設立されました。

活動内容：研究大会(年1回)
および研修会(年2回)の開催

事務局：医療法人瑞心会 渡辺病院
全国介護・終末期リハ・ケア研究会事務局
〒470-3235
愛知県知多郡美浜町大字野間字上川田45-2

入会すると

- ◆研究大会/研修会への参加を優遇
- ◆研究大会/研修会での発表/報告を優遇
- ◆介護・終末期リハ・ケアに関する情報を入手
- ◆他施設との共同研究への参加を調整
などの特典あり

ご入会は
こちらから



Lit.Link

<https://lit.link/ncerc>

【 Promotional video 】



<https://www.youtube.com/@n-CERC>

- Vol.1 大田仁史氏 講演より「発想の原点」
- Vol.2 大田仁史氏 講演より「無視できない時期」
- Vol.3 大田仁史氏 講演より「誰も切り捨てない」
- Vol.4 大田仁史氏 講演より「究極の介護、究極のリハ」
- Vol.5 齋藤正彦氏/小池和幸氏 対談より
「“尊厳”を意識した対応とは？」
- Vol.6 大田仁史氏 講演より「介護・終末期リハケアの重要性」

全国介護・終末期リハ・ケア研究会

National society for care & end term rehabilitation care (略称：nCERC) 会則

1. 名称 本会を全国介護・終末期リハ・ケア研究会と称する。なお略称はnCERCとする。
2. 会の目的 本会は介護・終末期リハ・ケアに関心を寄せるすべての人々が、互いの交流と研鑄を重ねることを通して、この分野の発展と互いの向上をはかることを目的とする。
3. 会員 本会は上記の目的をもつすべての者によって組織され、一般会員と賛助会員から構成し、会員となるための条件は設けない。
4. 組織 本会は目的を推進するための部会を組織することができる。
5. 入退会 本会への入退会は各自の自由意思による。ただし、入会手続きは事務局もしくは大会開催時の申し込みを必要とする。
尚、年会費を3年間滞納し、督促したにもかかわらず入金のない場合は、退会とする。
6. 会の運営と総会 本会の基本的な運営は別に定める世話人会が責任を持って行い、毎年1回の大会を開催し、その参加者の合意を得て次年度の開催地の決定、その他必要事項の審議をもって総会とし、運営する。
7. 大会
 - (1) 会員の交流と互いの研鑄をはかるため、毎年1回の大会をもつ。
 - (2) 大会の開催は会員からの自発的な要望を総会において審議し、適当と認められた地域において開催されるものとする。
 - (3) 大会はその地域における介護期・終末期リハビリテーション・ケアの発展に寄与することを目的として開催されることが期待される。
 - (4) 開催するにあたって、その形式・内容はすべて開催地の会員および組織に一任される。
8. 役員
 - (1) 世話人 本会は世話人として、会長1名、副会長2名、監事2名、事務局長1名の他、役員(20名以内)を置くことができる。
 - (2) 世話人会
世話人会は、会長、副会長、監事、役員、事務局長で構成され、会の運営にかかわる事項について審議する。
 - (3) 役員の任期
会長、副会長、監事、役員、事務局長の任期は3年とする。
 - (4) 選出方法
会長、副会長、監事、役員、事務局長の選出は、前任の役員会にて推薦し、総会において承認を得る。
9. 事務局 事務局を以下に置く。
〒470-3235 愛知県知多郡美浜町大字野間字上川田45-2 医療法人瑞心会 渡辺病院
全国介護・終末期リハ・ケア研究会事務局 Tel 0569-87-2111(代) Fax0569-87-2119
10. 会の解散 会員の多くが、本会則第2項に挙げた会の目的が達成されたと認めた時には本会を解散とすることとする。

【附則】

1. 会費 会費は一般会員：年額3,000円、賛助会員：年額10,000円とする。会費は連絡費、大会開催準備費、抄録集・報告作成費、郵送費、その他事務経費などに充てられる。大会の会場費など必要に応じて別途納入を求められることがある。
2. 顧問 本会は発足に際し、介護・終末期リハ・ケアの発展に寄与し、本会の趣意に理解を得た5名を顧問とする。 顧問) 大田仁史 冨田昌夫 渡邊靖之 澤 俊二 金田嘉清
3. 本会則は2013年9月22日をもって施行する。
4. 本会の入会期間・会計年度は、毎年9月1日に始まり、翌年8月末日に終わるものとする。
5. 本会の申込期間は、毎年4月1日に始まり、翌年3月末日に終わるものとする。
6. 2014年5月26日 一部改訂 2015年4月27日 一部改訂 2015年12月15日 一部改訂
2017年4月24日 一部改訂 2019年9月15日 一部改訂 2021年4月1日 一部改訂
2023年4月1日 一部改訂 2025年4月1日 一部改定